

発災から1ヵ月～七尾高校のこれまでとこれから～

能登半島地震から本日で1ヵ月となりました。

地震が発生した16:10、生徒・教職員全員で亡くなられた方々に対しまして黙とうを捧げさせていただきました。あらためて犠牲となられた方々に哀悼の意を表しますとともに、ご冥福をお祈りいたします。また、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

この1ヵ月（令和6年1月）の本校のおもな歩みは次のとおりです。

- 1日（月）避難所開設（～3日）
- 4日（木）3年生に調査書交付、共通テスト演習問題配付
学習用具・端末等の持ち帰り開始
- 5日（金）生徒・保護者・教職員全員の安否確認完了
- 9日（火）3年生の登校学習可（学校を学習室として開放）
1・2年生の学習用具・端末等の持ち帰り開始
- 10日（水）1・2年生の登校学習可（学校を学習室として開放）
- 11日（木）3年生担任よりメッセージ（大学入学共通テストに向けて等）配信
1・2年生、オンライン学年集会
- 12日（金）3年生、大学入学共通テスト受験に向けて金沢へ出発
- 13日（土）3年生、大学入学共通テスト受験（～14日）
- 15日（月）3年生、大学入学共通テスト自己採点
- 16日（火）3年生、個別試験対策開始（対面+オンラインのハイブリッド方式）
1・2年生、オンラインでSH（ショートホーム）・個人面談
- 17日（水）1・2年生、学習開始（ハイブリッド方式）
- 19日（金）3年生、個人面談開始（～20日、ハイブリッド方式）
- 21日（日）3年生、保護者懇談会開始（～23日、ハイブリッド方式）
- 22日（月）学校の本格再開①（部活動再開）
〔JR七尾線（羽咋～七尾間）運行再開、北鉄能登バスの一部路線運行再開〕
- 29日（月）学校の本格再開②（通常どおり7限まで実施）
〔のと鉄道の代行バス（能登中島～七尾間）運行開始〕

地震発生後、学校に駆けつけると、大きな書棚が倒れ、本が散乱していました。とても一人では動かせません。それが、二人で力を合わせると起こすことができました。あの日以降、人のあたたかさ、人のありがたみを多々実感する日々です。

地震の怖さ、それに対する対応は決して知らないわけではありません。平成19（2007）年の能登半島地震の体験、そして、阪神・淡路大震災、東日本大震災等を伝える報道・研修等を通して学んだ知識があります。

ただ、いざ起こってみると異なっていました。これまでに蓄積した教訓・対策を活かすことができる部分とそうではない部分（想定外）がありました。被災した地域の自然・社会等によって復旧・復興に向けた対策や要する時間が全く異なってくることを知りました。そういう意味では、今まさに「答えのない問い」に立ち向かっています。この「答えのない問い」への挑戦は、実は本校が大切にしている探究活動の精神です。

能登半島地震からの復旧・復興という「答えのない問い」に対し、皆様から頂いた物心両面にわたるたくさんのご支援を支えとして、生徒・教職員一同、探究の精神を持って取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。

令和6年2月1日
石川県立七尾高等学校
校長 樋上 哲也